

ニュージーランド キウイの収益改善を予測 日本市場に不安も

[ASIAFRUIT 2024年3月22日](#)

2024/25年度の最初の生産者向けガイダンスの発表に当たり、ダン・マシソンCEOは生産者ができるだけ早く果実を収穫し、シーズンを力強く始めることを奨励

ゼスプリは本日(3月22日)、2024/25年度シーズン最初の生産者向けガイダンスを発表し、旺盛な需要と収量の改善を背景に1ヘクタール当たりの収益(生産者手取り)が増加すると報告した。

ダン・マシソンCEOは、販売プログラムを開始するためにできるだけ早く果実を収穫するよう生産者に奨励するなど、業界はシーズンの力強いスタートに努めていると述べた。(以下「」は同CEOの発言)

「今年は収穫量が多いため、出荷シーズンを力強くスタートさせ、早い時期に取引先に届ける果実を増やし、早期の販売機会を生かすことが重要である。」

「ここ数か月、取引のある主要小売業者の多くがニュージーランドを訪れ、彼らの顧客(消費者)が我々の果実に対して示す強い需要について伝えてくれたことは素晴らしいことであり、今シーズンは、より多くの出荷量でその需要に応えることが期待される。」

「今週すでに、日本でルビーレッド・キウイフルーツの販売プログラムが始まった。この品種は、特に若い消費者の間で大きな関心を引き起こし、また果実が出回る期間が限定されることから、我々にとって望ましいスタートの切り方である。」

同CEOは、ゼスプリは今シーズン、すべてのキウイフルーツ品種で力強い成長を見込んでおり、世界中の市場に約1億9千万箱のキウイフルーツが出荷される予定だと続けた。

「果実の成熟の具合により予想よりやや遅いスタートとなったが、収穫量は増え始めており、これまでに約1,500万箱が出荷された。出荷量は急速に増加すると予想している。」

「また、現在、果実が入荷したらすぐに売って旺盛な需要を活かせるように、販売活動を強化している。」

「2023/24年度シーズンには出荷量の少なさと北半球での供給の制約によって出荷の終了時期が早まり、取引先の小売業者に継続して果実を提供することができなかったのが、このことは特に重要である。」

今シーズンのガイダンスには、1ヘクタール当たりの収益の増加が含まれており、スイートグリーンを除くすべての品目で、1ヘクタール当たり収益の予測幅の下限が、2023/24年度の1ヘクタール当たり収益の最終予想を上回っている。

「ここ数年は生育期間中の条件が特に厳しかったので、今年生育条件が良くなったのは本当に前向きなことである。収量が増加し、このことは1ヘクタール当たりの収益が昨シーズンに比べて大幅に上昇することに寄与すると見られ、生産者にとって良い知らせとなるだろう。」

ガイダンスでは、より厳しい市場環境や、日本円にとって好ましくない為替変動の影響などが下振れリスクとして取り上げられた。

後者は、日本での売上に占める割合が高い有機栽培品、スイートグリーン、ルビーレッドの各品目に特に影響を与えると予想される。

執筆者: カール・コレン